

編集 後記

編集顧問 町田 豊平 小川 秋實 秋元 成太
編集委員 村井 勝 郡 健二郎 藤岡 知昭

今月号の総説は、国際医療福祉大学教授・荒川孝先生による「尿管結石の積極的治療方針」です。先生が結石治療の第一人者であることを皆様ご承知のことと思います。先生ご自身の長年の臨床経験に基づく独自の見解・理論を展開されており、読み応えのある興味深い内容です。

また、手術手技「腹腔鏡下手術時代における開放手術」は、泌尿器科の代表的な手術であった「被膜下前立腺摘除術」です。30年ぐらい前の日本泌尿器科学会総会および各地区総会において、先輩諸氏が術式の工夫・改良、手術時間および術中出血量などに関して熱く議論されていたことを思い出します。今回の3論文においては先生のお筆のこだわりや思い入れが感じられ、執筆された先生の年齢を推測できます。小生も泌尿器科医修行時代のことを思い出して、ひそかな興奮を覚えたので、蛇足とは思いますが自験・私見を述べたいと思います。

小生は、前立腺肥大症の治療はすべてTURPという聖路加国際病院・岡本重禮博士の指導下で臨床研修を行いましたので、この手術を執刀したのは卒後7年目、福島労災病院に赴任してからです。第1例目の症例で、腺腫摘出の際、前立腺被膜が裂け、大量出血をきたしてしまいました。当時、自他共に「手術の名人」と認識されていた泌尿器科部長の千葉隆一博士に「へたくそ」「被膜切開が小さいからだ」と怒鳴られたことが忘れられません。幸い、労災病院には前立腺肥大症の患者さんが多数おられましたので、千葉部長と張り合うことができるようにと、日夜、国内外の手術書の精読および手技の練磨と工夫を重ねたこと

が懐かしく思い出されます。

各筆者も述べられていますが、本手術で最も重要なことは、短時間で手術を終えることと考えます。そのためには、前立腺被膜の露出の際に静脈出血をさせない剥離操作と、腺腫摘出のために十分な前立腺被膜の切開を行うこと、腺腫摘出後、必要最小限の止血のみとし、すみやかに被膜を縫合閉鎖、手術を終えることに尽きると考えています。小生は腺腫摘出後の止血操作は、膀胱頸部粘膜を前立腺床に確実に縫着することのみとしています。すなわち、膀胱頸部の中央に切開を置き、そのおのおの断端に針糸をかけ、これを前立腺床側壁より被膜外、さらに被膜内に運針・誘導することにより膀胱頸部粘膜を前立腺床に的確に縫着でき、前立腺動脈が確実に圧迫止血されます。この方法であれば輸血は原則不要で、1時間以内に手術を終えることができます。翌日より食事を開始でき、皮膚・腹壁切開による疼痛を除き、患者さんへの侵襲は大きいとはいえないのではないかと思います。現在の大学に移り20年以上が経過した現在、「被膜下前立腺摘除術」の適応となる症例は、年間1例程度と稀ですが、若い先生方も経験しておくべき重要な術式と考えます。

セミナー「新しい手術器械の応用」では、非接触凝固法である「アルゴンビームコアギュレーター」を紹介していただきました。内視鏡や腹腔鏡に対応したプローブも開発されており、泌尿器科領域の手術においても多用されるものと考えます。その他、原著と症例報告がおのおの2編、画像診断と小さな工夫がおのおの1篇と盛り沢山な内容です。(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第61巻 第11号) (通巻733号)
2007年10月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%)
2007年 年ぎめ予約購読料 (増刊号を含む13冊)
41,360 円 (税込・送料サービス)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当: 登・渡辺・中田)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- ・ JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。